

〔質疑〕市長の「わいわいトーク」を2回開催したとあるが、これまではもっと開催していたと思う。今後、希望する地域があれば開催回数を増やす考えはあるのか。

〔答弁〕「わいわいトーク」としては2回の開催であったが、市長は直接、各地区に行って話しはしている。

今後においても、市長が直接市民の方からお話を聞く機会は、増えると思っている。

〔質疑〕家庭相談室の相談の中に、虐待が5件とあるが、内容はどのようなものか。

また、これに対する対応はどうなっているのか。

〔答弁〕家庭内暴力、DV関係となっている。それらについては、子ども家庭課や、福祉事務所の相談員とともに対応し、問題があれば女性相談センターや、警察に連絡をとって対応している。

〔質疑〕虐待に対する今後の当市の対応はどうあるべきなのか。

〔答弁〕虐待の把握には、民生委員や地域の方に連絡をいただきながら、対応をしてきたいと考えている。

〔質疑〕市民課で戸籍・住民基本台帳出入力業務を、民間委託したが、成果の内容と、改善点などを説明いただきたい。

〔答弁〕成果については、受付、審査、交付は市職員の仕事であり、入力や証明書の発行というのが委託業者の仕事というように、役割分担をしたことで、二重のチェック体制ができたことが、大きいと思っている。

それから、定型業務を民間業者に集中して行っていたことにより、市職員は、戸籍法や住民基本台帳法などに関する専門的知識の向上により多く努めることができたと思っている。

また、民間の専門知識を活用することにより、繁忙期、それから今回のような震災時の対応、または人事異動の際にも、住民サービスを低下せ

ずに維持することができ、さらに市職員を削減できた事ではないかと思っている。

改善点としては、今までは市職員がすべて入力等をしてきたが、その点を委託したことにより、実務経験のない市職員がこれから増えるため、審査に関する研修に努めていかなければならない。

〔質疑〕ひこうせんに通う児童の把握をどのようにされているのか。子どもの健診等で把握することはできないのか。療育にあたる者の資格はどうなっているのか。

〔答弁〕家庭相談員が、療育手帳の申請時などに、保護者と相談することにより、把握している。

また、乳幼児健診の際に発達相談を行い、保護者と話し合いをし、その後、遊びの教室というものを実施している。

その際、心理判定士、保健師、ひこうせんの先生方にも参加いただき、遊びの教室を経験していただきながら、ひこうせんへ行かれる方につい

てはつないでいる。

療育にあたる者は、現在、保育士である。仙南に同じような施設があり、そこで研修などを積んで、職にあたって

〔質疑〕高齢者福祉計画による地域ふれあいサロン活動支援事業の内容と効果について伺いたい。

〔答弁〕ふれあいサロン活動支援事業の内容については、活動支援員を1名雇用し、地域に Outreach、15団体ほどあるお茶飲み会に参加しながら、活動の内容を聞き、いろいろな形で支援活動をしてきたところである。

効果としては、2つの団体が増え、17団体となったことである。

平成22年度 一般会計・特別会計決算の状況

〔単位：円〕

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	15,023,466,721	14,450,062,833	573,403,888
特別会計	7,373,243,078	7,031,488,898	341,754,180
国民健康保険	4,201,131,097	3,943,620,538	257,510,559
地方卸売市場事業	9,358,029	9,358,029	0
老人保健	7,723,105	7,723,105	0
介護保険	2,818,470,815	2,740,463,383	78,007,432
後期高齢者医療	336,560,032	330,323,843	6,236,189
合計	22,396,709,799	21,481,551,731	915,158,068

平成22年度 企業会計決算の収支状況

(消費税相当額を含む)〔単位：円〕

会計名	収益的収入	収益的支出
水道事業	962,302,825	897,150,584
下水道事業	830,286,234	830,329,825